

各位

平成24年12月10日

近畿日本ツーリスト株式会社
ブランド戦略室 広報 担当：立花
TEL：03-6891-6824

旅行取扱状況の概観（平成24年10月分）

海外旅行の取り扱いは、一般団体・学生団体とも好調に推移し、団体旅行合計で前年比107.0%と前年を上回った。企画旅行・個人旅行については、東アジア情勢の影響が大きく、前年を大幅に下回った。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比87.7%と前年を下回る結果となった。

国内旅行の取り扱いは、一般団体・学生団体とも前年を下回り、団体旅行合計では前年比79.7%と前年を下回った。企画旅行については、取扱人数・取扱額とも前年を上回った。個人旅行も前年比106.8%と好調であった。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比93.2%と前年を下回る結果となった。

回復基調にある外国人旅行は、前年比149.9%となり、前年を大幅に上回った。

以上の結果、10月の総取扱額は、前年比92.3%と、前年を下回る結果であった。

1. 海外旅行

(1) 団体旅行

一般団体は、東アジア情勢の影響を受け、韓国・中国方面で多くの団体が中止・延期となったものの、他方面の大型団体の取り扱い増加により前年比106.6%と前年を上回った。学生団体については修学旅行以外の団体増加により前年比107.7%と前年を上回った。この結果、海外団体旅行としては前年比107.0%と前年を上回った。

(2) 企画旅行

ホリデイは、東アジア情勢の影響を受け、韓国・中国方面が前年を大幅に下回った結果、取扱額は前年比72.8%、取扱人数は前年比74.3%であった。

2. 国内旅行

(1) 団体旅行

一般団体は、昨年、多くの遠忌法要団体や大型イベントを取り扱った反動もあり、前年比79.4%であった。学生団体は、台風による実施延期や、昨年、震災に伴い実施時期が移行となった団体を多く取り扱ったこともあり、前年比80.0%であった。その結果、国内団体旅行として前年比79.7%と前年を下回る結果となった。

(2) 企画旅行

メイトは、取扱人数で前年比109.8%、取扱額は前年比113.0%と前年を大幅に上回った。方面別取扱人数状況では、北海道、沖縄、東北、TDR・東京商品などは前年を大きく上回ったが、九州方面は昨年の九州新幹線開業に伴う需要増の反動もあり伸び悩んだ。

※月次取扱額は、KNTとKNT北海道、KNT九州、KNT東北、KNT中国四国、KNT商事、KNTアジアの合算額となります。

以上